

地方会議（沖縄県那覇市）

1. 日時、場所

平成24年3月26日（月） 13時30分～15時30分

2. 参加者

地元の若手・女性の中小企業経営者等 60名

3. 参加者の意見

（1）出された意見数（課題別）

全体意見数	28
資金調達	3
経営指導・経営支援	10
技術力・人材（技能承継等）	3
取引関係（下請取引・流通構造等）	1
販路開拓（海外展開等）	2
若手・青年層の活力発揮	1
女性層の活力発揮	1
「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）	2
その他	5

（2）主な意見

【資金調達】

- ・銀行には資金があるのに、中小企業に回っていないことが問題。4～5社のチームに与信を与える仕組みが出来ないか。
- ・研究開発型のものづくりに対する資金面の支援の充実を。

【経営指導・経営支援】

- ・支援制度の対象規模を、中小企業が使いやすい少額なものにする等対象を柔軟に。
- ・支援機関がしっかりと機能することが重要。
- ・所管省庁が違うなど、制度上のはざまで支援を受けられない実態の改善を。
- ・支援制度の対象規模が大きく、中小企業が使いやすい小さいものを考えて欲しい。
- ・経営革新は自分の会社を見直せるのでよい制度。認定後の支援策の充実を。

【技術力・人材（技能承継等）】

- ・学校教育など、長期的な視点でどういう人材を育てるのかという視点が必要。
- ・中小企業が新卒者を採用する際の助成制度などの支援を検討してほしい。
- ・障がい者を雇用する地元中小企業に対して支援してほしい。

【取引関係（下請取引・流通構造等）】

- ・離島になると仕入れもコストがかかる等のハンデを埋める政策を考えて欲しい。

【販路開拓（海外展開等）】

- ・販売不振の原因である商品力が弱さと情報発信力の弱さを克服する講座や支援が必要。
- ・海外販路拡大に向け、マーケティングや現地でのパートナーづくりが必要。

【若手・青年層の活力発揮】

- ・沖縄は創業も全国１位だが、廃業も全国１位。創業後のフォローをお願いしたい。
- ・若い経営者が連携できるような仕組みが必要。

【女性層の活力発揮】

- ・商店街に子供を預かる育児施設があれば、３・４０代の女性が働けるのでは。

【「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）】

- ・商店街加入の努力義務を強化することが、地域活性化につながるのでは。
- ・年度末にイベントができるよう、補助事業の運用を柔軟にしてほしい。

【その他】

- ・沖縄・地域・自社に誇りをもてるような政策支援を。
- ・中小企業は連携が重要。中小企業憲章の連携の精神の浸透が必要。